

# 電気料金メニュー定義書

【湘南のでんき電灯C】

令和2年4月1日実施

**湘南電力株式会社**

## 目次

1. 実施期日 .....	3
2. 定義 .....	3
3. 適用条件 .....	3
4. 供給電気方式、供給電圧および周波数.....	4
5. 契約容量 .....	4
6. 電気料金 .....	4
7. 適用期間 .....	5
8. 契約容量の変更 .....	5
9. 湘南のでんきCの定義書の変更および廃止.....	6
付則 .....	7
別表 .....	8
1 燃料費調整 .....	8
2 日割計算の基本算式.....	10

電気料金メニュー定義書【湘南のでんき電灯C】（以下「湘南のでんきCの定義書」といいます。）は、当社の電気需給約款（低圧）（以下「電気需給約款」といいます）にもとづき、電灯または小型機器をご使用のお客様への電気を小売する時の料金その他の条件を定めたものです。

なお、湘南のでんきCの定義書に定める基本料金、電力量料金、および燃料費調整における基準単価の金額は、すべて消費税等相当額を含みますが、消費税率が改定された場合は、改定後の消費税率にもとづき精算します。

### 1. 実施期日

湘南のでんきCの定義書は、令和2年4月1日より実施します。

### 2. 定義

次の言葉は、湘南のでんきCの定義書においてそれぞれ次の意味で使用します。なお、電気需給約款に定義される言葉は、湘南のでんきCの定義書においても同様の意味で使用します。

#### (1) 貿易統計

関税法にもとづき公表される統計をいいます。

#### (2) 平均燃料価格計算期間

貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき平均燃料価額を計算する場合の期間とし、毎年1月1日から3月31日までの期間、2月1日から4月30日までの期間、3月1日から5月31日までの期間、4月1日から6月30日までの期間、5月1日から7月31日までの期間、6月1日から8月31日までの期間、7月1日から9月30日までの期間、8月1日から10月31日までの期間、9月1日から11月30日までの期間、10月1日から12月31日までの期間、11月1日から翌年の1月31日までの期間または12月1日から翌年の2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は翌年の2月29日までの期間といたします。）をいいます。

### 3. 適用条件

湘南のでんきCの定義書にもとづく電気料金メニュー（以下「湘南のでんきC」といいます。）は電灯または小型機器をご使用のお客様向けのメニューとし、次のいずれにも該当するものに適用します。

- ① 契約容量が6キロボルトアンペア以上であり、かつ、50キロボルトアンペア未満であること。
- ② 1 需要場所において動力をご使用のお客様向けのメニューとあわせて

契約する場合は、契約電流と契約電力との合計（この場合、10 アンペアを1 キロワットとみなします）が50 キロワット未満であること。

ただし、1 需要場所において動力をご使用のお客様向けのメニューとあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、当社が認めたときは、①に該当し、かつ②の契約電流と契約電力との合計が50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、送配電事業者は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。

- ③ 動力をご使用のお客様向けのメニューとあわせて契約せずに、動力を使用しないこと。

#### 4. 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式及び供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルト及び200ボルトとし、周波数は、標準周波数50ヘルツとします。ただし、技術上やむを得ない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

#### 5. 契約容量

- (1) 契約容量は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、電気需給約款別表3（契約容量の算定方法）により計算された値を参考に、1年間を通じて最大負荷を基準としてお客さまから申し出ていただきます。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定していただきます。

ただし、スイッチングの場合は、原則として、他の小売事業者との契約終了時点の契約電流の値を引き継ぐものとします。

- (2) 送配電事業者は、契約電流に応じて、電流制限器その他の適当な装置を取り付けることがあります。

#### 6. 電気料金

- (1) 電気料金は、基本料金、電力量料金および電気需給約款別表1（再生可能エネルギー発電促進賦課金）（3）で算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計といたします。

- (2) 基本料金

基本料金は、1ヶ月につき次のとおりとします。ただし、全く電気を使用しない場合の基本料金は半額とします。

契約容量1キロボルトアンペアにつき	277.41円
-------------------	---------

- (3) 電力量料金



気需給約款 4（この需給約款等の変更）（4）、（5）および（6）に準じます。

9. 湘南のでんき C の定義書の変更および廃止

- （1） 当社は、湘南のでんき C の定義書を変更する場合には、電気需給約款 4（この需給約款等の変更）に準じます。
- （2） 当社は、湘南のでんき C の定義書を廃止することがあります。この場合、当社はあらかじめ一定期間、廃止のお知らせおよび廃止日を当社ホームページに掲載します。
- （3） 湘南のでんき C の定義書の廃止に伴い、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行なう場合は、電気需給約款 4（この需給約款等の変更）（4）、（5）および（6）に準じます。

## 付則

### 1. 湘南のでんきCの定義書の実施に伴う切り替え措置

当社は、料金算定期間の末日が、令和2年4月1日から令和2年4月30日に属する料金算定期間の料金は、令和2年3月31日まで適用の電気需給約款〔低圧／湘南のでんき〕にもとづき料金を算定するものいたします。

## 別表

### 1 燃料費調整

#### (1) 燃料費調整額の計算

##### ① 平均燃料価格

原油換算値 1 キロリットル当たりの平均燃料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって計算された値とします。

なお、平均燃料価格は 100 円単位とし、100 円未満の端数は 10 円の位で四捨五入します。

$$\text{平均燃料価格} = A \times \alpha + B \times \beta + C \times \gamma$$

A = 各平均燃料価格計算期間における 1 キロリットル当たりの平均原油価格

B = 各平均燃料価格計算期間における 1 トン当たりの平均液化天然ガス価格

C = 各平均燃料価格計算期間における 1 トン当たりの平均石炭価格

$$\alpha = 0.1970$$

$$\beta = 0.4435$$

$$\gamma = 0.2512$$

なお、各平均燃料価格計算期間における 1 キロリットル当たりの平均原油価格、

1 トン当たりの平均液化天然ガス価格および 1 トン当たりの平均石炭価格の単位は、1 円とし、その端数は、少数点以下第 1 位で四捨五入します。

##### ② 燃料費調整単価

燃料費調整単価は、次の算式によって計算された値とします。

なお、燃料費調整単価の単位は、1 銭とし、その端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入します。

イ 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 44,200 円を下回る場合  
燃料費調整単価

$$= (44,200 \text{ 円} - \text{平均燃料価格}) \times ((2) \text{ の基準単価} \div 1,000)$$

ロ 1 キロリットル当たりの平均燃料価格が 44,200 円を上回る場合  
燃料費調整単価

$$= (\text{平均燃料価格} - 44,200 \text{ 円}) \times ((2) \text{ の基準単価} \div 1,000)$$



### ③ 燃料費調整単価の適用

各平均燃料価格算定期間の平均燃料価格によって算定された燃料費調整単価は、その平均燃料価格算定期間に対応する燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用いたします。

なお、各平均燃料価格算定期間に対応する燃料費調整単価適用期間は、次のとおりといたします。

平均燃料価格算定期間	燃料費調整単価適用期間
毎年1月1日から3月31日までの期間	その年の6月の料金に係る計量期間等
毎年2月1日から4月30日までの期間	その年の7月の料金に係る計量期間等
毎年3月1日から5月31日までの期間	その年の8月の料金に係る計量期間等
毎年4月1日から6月30日までの期間	その年の9月の料金に係る計量期間等
毎年5月1日から7月31日までの期間	その年の10月の料金に係る計量期間等
毎年6月1日から8月31日までの期間	その年の11月の料金に係る計量期間等
毎年7月1日から9月30日までの期間	その年の12月の料金に係る計量期間等
毎年8月1日から10月31日までの期間	翌年の1月の料金に係る計量期間等
毎年9月1日から11月30日までの期間	翌年の2月の料金に係る計量期間等
毎年10月1日から12月31日までの期間	翌年の3月の料金に係る計量期間等
毎年11月1日から翌年の1月31日までの期間	翌年の4月の料金に係る計量期間等
毎年12月1日から翌年の2月28日までの期間(翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間)	翌年の5月の料金に係る計量期間等

④ 燃料費調整額

燃料費調整額は、その1月の使用電力量にロによって算定された燃料費調整単価を適用して算定いたします。

(2) 基準単価

基準単価は、平均燃料価格が1,000円変動した場合の値とし、次のとおりといたします。

1キロワット時につき	23銭2厘
------------	-------

(3) 燃料費調整単価等のお知らせ

当社は、(1)①の各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格、1トン当たりの平均石炭価格および(1)②によって算定された燃料費調整単価を、当社のホームページに掲載します。

## 2 日割計算の基本算式

電気需給約款22(日割計算)に定める日割計算の基本算式は、次のとおりといたします。

① 電力量区分を日割する場合

$$\text{イ 第1段階料金適用電力量} = 120 \text{ キロワット時} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{30 \text{ 日}}$$

なお、第1段階料金適用電力量とは、最初の120キロワット時までの1キロワット時当たりの電力量料金が適用される電力量をいいます。

$$\text{ロ 第2段階料金適用電力量} = 300 \text{ キロワット時} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{30 \text{ 日}} - \text{第1段階料金適用電力量}$$

なお、第2段階料金適用電力量とは、120キロワット時をこえ300キロワット時までの1キロワット時当たりの電力量料金が適用される電力量をいいます。

② ①に規定する第1段階料金適用電力量および第2段階料金適用電力量の単位は、1キロワット時とし、その端数は、小数点以下第1位で

四捨五入いたします。